

16.10/17

週末のご挨拶

本日の野菜&果物

里芋	鎌倉	大平さん	じゃが芋	北海道	伊東さん
ブロッコリー	新潟	田中さん	人参	北海道	伊東さん
舞茸	新潟	中山さん	りんご(信濃ドルチェ)	長野	小坂さん

りんごは殺虫・殺菌各2回、他は栽培中農薬・化学肥料は使用していません

先週の土曜日は久しぶりにお天道様にお目にかかれ、清々しい気持ちになりましたが、今週のお天道様のご機嫌はいかがなのでしょう…？にっこりと顔をおたし頂けるのでしょうか…多くの人たちがお転送様の顔を見られることを待ち望んでいますので、是非ともお顔をお出しいただき、人々に爽やかな気持ちを与えていただきたいものです。

街では野菜価格の高騰が話題になって、野菜の買い控えも始まっているようですが、あまり高いと買わない…というのも正直な気持ちですが、売れないと販売する店も困りますが、高く売れないと店側はあまり仕入れません。そうするとまわりまわってそのつけは生産者の皆さんに行くこととなります。

一生懸命栽培したものが天気の影響という自然現象で激減…というか壊滅打撃を受け、その中でわずかに残ったものまでが高値で売れない…という生産者の皆さんには本当に踏んだり蹴ったりとなります。天気の影響で不作、その上わずかに収穫された農作物も【高い】という理由で売れない…どうすりゃいいのよこの私…状態で、生産意欲も落ちてしまいます。

皆の衆、一般市場で野菜が高い状態がしばらく続くかもしれませんが、野菜を食べるのを我慢する…という事ではなく、生産者応援という意味も含めて少し頑張って買っちゃいましょう。高かったけれど皆さんが買ってくれた…となると生産者の皆さんも「これからは自然災害に負けないないで、皆さんのためにも野菜を作り続けるぞ」と、生産意欲がますます強くなるかもしれません。買って食べることが生産者の皆さんの応援になります。みなさん、日本の農業を支えるのはつくる人・生産者だけではなく、食べる人・買う人、いわゆる一つの消費者の皆さんの一つ一つの行動も大きな支えになります。

気候変動は世界中で起きている現実の現象です。これは私の勝手な推測ですが、これからの気象状況は年々厳しくなり、農作物ばかりでなく、水産物などの食糧事情、水も厳しくなり、食糧確保が大きな問題となります。今の食料輸出国も十数年、いや数年先かも…輸出よりも自国の食糧確保に追われる…そんな時に食糧確保の頼りになるのは輸入より自国の食糧生産です。農業は生活というより命を守る大事な産業です。育てましょう、一人一人の意識と行動で…

10/24 お届け予定

10/31 お届け予定

お休みです

ブロッコリー・南瓜 1/4・玉葱
大根・にんにく・りんご又はラフランス

オーガニックマーケット